

# 『地域で高齢者を見守る・支えるしくみ』市民説明会 会議録

(H24. 10. 11 19:00～ 北地区コミュニティセンター)

## 出席者

- ・市民 26名
  
- ・市 高橋市民部長、中村介護福祉課長、山崎介護福祉課長補佐、  
奥山介護保険係長

## 1. 開 会

山崎介護福祉課長補佐

## 2. 挨拶

高橋市民部長 ～ 皆様、大変ご苦勞様です。市民部長の高橋です。いつも大変お世話になりありがとうございます。本日は午後7時から、そしてお足下の悪い中お集まりいただきましてありがとうございます。本来であれば、善岡市長がご挨拶申し上げるところですが、公務により欠席のため私から一言ご挨拶させていただきます。

このしくみについてですが、善岡市長が初当選して以来、政策の要として議論しており、この度概要ができましたので、ご説明をさせていただきます。このしくみは二つの柱で構成されていまして、一つの柱につきましては、住民基本4情報を社会福祉協議会を通じて各町内会に提供することにより、現在は個人情報保護法によって連携することはなかなか難しくなっています市、包括、社協、町内会、そして民生委員が連携することが可能になると考えています。そして、もう一つの柱は元気な高齢者はいつまでも元気でいつづけていただきたいと考え、そのための施策も実施していきたいと考えています。今年の12月の定例議会に、条例案として提出し、来年4月からしくみを始めたいと思っています。

なお、これから担当のほうから説明させていただきますが、終了後には皆様のご意見をお聞かせいただき、このしくみに反映させていきたいと思っていますので、本日はよろしく願いいたします。

### 3. DVD上映「独居老人の孤立死」

### 4. 説 明

#### ○説 明

奥山介護保険係長より、資料「地域で高齢者を見守る・支えるしくみ」に基づき説明

### 5. 質 疑

市 民 ～ 今後社協から各町内会に高齢者の名簿が提供されるとのことですが、本人同意事項について同意が得られない場合はどうするのでしょうか。

また、地域で高齢者を見守る時には高齢者同士の交流も大事だと思いますし、その時にお互いの状態を確認できると思います。しかし、最近はそういう機会も少なくなりましたので、市でそのような活動に対して何か助成していただきたいと思います。

中村介護福祉課長～ まず本人同意事項についてですが、住民基本4情報については社協を通じて町内会に情報提供をしたいと思います。しかし、名簿はもうできているという町内会もあります。また、4情報自体は個人情報の中でも比較的オープンな情報ですので、4情報だけの情報提供ではこのしくみは十分に機能しないと考えています。そこで本人の同意をいただいて緊急連絡先等を載せた高齢者台帳を作成し、同意が得られた部分については社協を通じて町内会に提供しようと思っています。ただ、本人の同意が得られない場合は個人情報法保護の壁があり提供できませんが、市、包括、町内会、そして民生委員と情報を共有し連携してできるだけ早く取り組むことができるように、地域において支援が必要な高齢者の方がどの程度いるか把握した中で、本人の同意を得る取り組みをしたいと考えています。中には社会的な接点を自ら拒む方もいるかもしれませんが、辛抱強く取り組んでいきたいと考えています。

二点目ですが、どこの町内会も高齢者を見守る体制をつくりにくいということは承知していますので、新年度に入りましたら地域ごとに市、包括、町内会、そして民生委員と地域の実状に合わせ支援が必要な高齢者を把握し、役割分担をしながらどういう対応が良いかを決めていきたいと考えています。また、地域の中で対応が難しくなれば市や包括が関与する場面もあるかもしれません。

高橋市民部長 ～ 助成制度について考えはないかということでしたが、このしくみに関する取り組みと、高齢者に元気でいつづけていただく取り組みを町内会で行っていただいた場合には、具体的にどのような助成ができるかということについては現在検討している段階です。

市 民 ～ しくみのイメージの図は大変分かり易かったのですが、高齢者のレベル分けについては砂川市独自のものですか。

奥山介護保険係長～ レベル分けについては、あくまでも一つの例としてお話をさせていただきました。ですからレベル1だから必ず積極的に見守らなければいけないということではありません。今は町内会長と民生委員にそれぞれの地域における状況、それぞれの取り組みについてお話を聞いています。「地域で気になる、心配な方はいますか。」と聞くと、独居の方であったり、高齢者のご夫婦であったりと様々です。その地域によって状況は異なりますから、その地域の実状にあった取り組みを市、包括、町内会、そして民生委員と役割分担をしながら対応していきたいと思います。

市 民 ～ 要望になるのですが、私は空知太第5町内会の者ですが、高齢者同士が交流できる場所が少なくなっていると感じます。以前、中川市長時代に、砂川に高齢者のための温泉施設を建設してほしいとお願いをしたことがあります。遊水地で温泉が出なかったという話を聞いたことがあります。新たに建設するとなると予算的に大変ですので、地域の高齢者を近隣の温泉に順次連れて行くとか、何か高齢者が楽しく過ごせる場を提供いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

中村介護福祉課長～ 現在、介護予防教室を年に2回ほど、1回は地域で、そしてもう1回はふれあいセンターで行っています。その介護予防教室が終わった後に、地域の皆さんが集まってお茶を飲んだり、体操をしたりできる高齢者の集まるサロンを設置できるような取り組みをしています。去年は空知太地区で実施しています。今年は晴見で介護予防教室を行っていますので、今後とも高齢者が交流できる場を設置できるように取り組んでいきたいと考えています。

高橋市民部長 ～ 私のほうから温泉の話をさせていただきます。オアシスパークでボーリングをしましたが、結果として温泉が出なく施設を作るのは難しいということで断念しました。そして他の市町村の施設に高齢者を連れて行くことについてですが、老人クラブの研修補助という制度がありますので、老人クラブを通して介護福祉課に相談していただければ助成できるかどうかを判断します。

市 民 ～ 私はボランティア活動をしているのですが、本別町が町をあげてボランティア活動に取り組んでいると聞きまして、視察研修に行きました。そこではボランティア活動について学校の授業の一環として取り組んでいるなど、町民全体が取り組んでいるとのことでした。今後このしくみに子どもを含めた取り組みについても検討していただきたいと思いました。

中村介護福祉課長～ 今回のしくみの対象者は高齢者ですが、気づきのしくみで、市内の高齢者と接点のある事業所と協定を結んで、現役世代の方も巻き込む取り組みを検討しています。また、学校教育については教育委員会等と協議して行く必要はありますが、市民が高齢期になっても住みよい街になるにはどういう取り組みが必要かということを検討していきたいと考えています。

市 民 ～ やはり基礎は地域、町内会です。この砂川は地域によって様々だと思いますが、行政は各町内会を一律に見ていて比較していると思います。そこで行政はもっと地域の中に入って、上から目線ではなく、どうすればその地域がもっと活性化する、どう高齢者を見守るなど、その地域に合った特色のある取り組みをしてもらいたいです。

奥山介護保険係長～ これまで、このしくみのイメージについては、町内会、民生委員、そして社協にもお話をさせていただきました。そして現在53人の民生委員がいますが、40数名の方に直接お会いして、地域における民生委員の活動状況、高齢者の実態、抱える課題等についてお聞きしています。また、先週から町内会長にも訪問させていただいています。今後全ての民生委員、町内会長にお会いしてお話をお聞きしたいと思っていますし、また、条例提案します12月以降にも地域に入りまして、市、包括、町内会、そして民生委員としっかり連携をして地域の実状に合わせた見守り活動等の取り組みをしていき

たいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

市 民 ～ 数年前に町内会で福祉部を作るようにと話がありましたけど、あれは市からですか。どこからでしょうか。

中村介護福祉課長～ 社協からです。

市 民 ～ 社協からとなるということは、町内会は市より社協との結びつきが強いということですよ。

高橋市民部長 ～ 繋がりには市ともあります。

市 民 ～ そうですか。町内会の福祉部の在り方をもう少し考えてもいいのではないかと思います。私の町内会の福祉部ですが、あまり積極的に活動をしていないと思いますので。

中村介護福祉課長～ 町内会の福祉部の役割についてということでしたが、それについても市、包括、町内会、そして民生委員が地域における取組について打合せをする時に、町内会の福祉部の活動状況を把握したうえでその地域に合った最も有効な取り組みについて協議を重ね、ベストな見守る・支えるしくみを構築していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。

質疑応答終了

## 6. 閉 会

山崎介護福祉課長補佐